

費やすの 3つの想像

1

地球に良いか
どうかで、買う商品を決めるようになる、
かもしれない

2

古いものを改変して
使うことが最先端になる、
かもしれない

3

自分の体に
ぴったりな食べ物を
機械が作ってくれるように
なる、かもしれない

地球に良いか
どうかで、買う商品を
決めるようになる、
かもしれない



これからは、生活の豊かさはGDP以外の指標で
計っていくかもしれないんだって！ *

そういえば、「地球の幸福度」を国ごとにランキングにした
指標を見たことがあるよ★。国民が生活に満足してるかや、
国民一人一人が環境に与える影響が指標に入っていたよ。



そんな指標が広がったら、自分の普段の行動も意識しちゃうかも。
例えば買い物だったら、地球にいい影響を与えるかで
買う物を選ぶようになるかもね。

*** 関連する「未来予測カード」**

・ 経済 4.豊かさの再定義 1.持続可能な開発のために、経済性以外にも焦点をあてた、新国富による新たな開発指標が必要となる * 新国富は人工資本、人的資本、自然資本の3つの資本（目標年次なし）

★ 関連するニュース

・ IDEAS FOR GOODサイト,“GDPでも幸福度指数でもない。「地球の幸福度」を基準とした生き方を考える【ウェルビーイング特集 #36 新しい経済】”, 2021年10月21日, <https://ideasforgood.jp/2021/11/10/happy-planet-index/>

古いものを改変して
使うことが
最先端になる、
かもしれない



今世界で、サーキュラーエコノミーっていう、
資源を簡単に捨てないで、どんどん循環させて
有効に使う考え方が広がっている＊らしいよ。

そういえば、これからモノを作って売る会社は、
買った人が修理できるようにしないとイケないって
いうニュース★を見たよ！



これからは修理を上手にできる人が
周りの人から頼りにされるかもしれないね。
修理する前よりカッコよく変えちゃう人も出てくるかも。

＊関連する「未来予測カード」

・社会 5.資源循環 3.成長戦略「欧州グリーン・ディール」を掲げる欧州が、サーキュラーエコノミー（循環型経済）に移行することを目指している（目標年次なし）

★関連するニュース

・日経新聞Webサイト、“EU、家電の「修理する権利」法制化 日系メーカーも対象”、2024年2月3日、
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGR02DTZ0S4A200C2000000/>

自分の体に
ぴったりな食べ物を
機械が作って
くれるようになる、
かもしれない



今3Dプリンターで食べ物を作る研究が
されているんだって。＊

面白いね。私も自分の家に置きたいな！
私の代わりに料理してくれたら嬉しい。



食べ物の中の栄養を自分の体の調子に
合わせることも考えられているみたい。
お家に一台あったらとっても便利になりそうだね。

＊関連する「未来予測カード」

・技術I-7 人工肉など人工食材をベースに、食品をオーダーメイドで製造（造形）する3Dフードプリンティング技術が社会的に実現する(2030年)

★関連するニュース

・朝日新聞 GLOBE+Webサイト、“食品サンプルではありません 研究室発、3Dプリンターで作る食べられる「すしネタ」”、2022年4月19日、<https://globe.asahi.com/article/14597382>

住む・暮らすの 3つの想像

1

「気候変動に
対応できる家」が
当たり前になる、
かもしれない

2

家族で移動しながら
暮らすようになる、
かもしれない

3

水や電気のインフラ設備は
どんどん小さくなる、
かもしれない

「気候変動に
対応できる家」が
当たり前になる、
かもしれない



温暖化の影響で、豪雨や台風が
今より起こるようになったり、
海面水位が上昇するかもしれないんだって*。

オランダでは、海水面が上昇しても安全のように、
水上で暮らす取組が進められてるらしいよ★。



気候変動が進行しても住み続けられる家、ってことだね。
陸上の家でも、涼しくなるように屋根を広げるとか、
水位が上昇しても浮かぶようにするとか、
いろんな対応方法がありそうだね。

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 社会 6.災害リスク 1.豪雨や台風の発生頻度が増加し、強さも増す* 追加的な緩和先を取らなかった場合、非常に激しい雨の発生頻度は約2.3倍に（2100年）等

★関連するニュース

- ・ 朝日新聞 GLOBE+ Webサイト、「気候変動の時代、「水に浮かぶ暮らし」は現実の選択肢だ」、2019年3月19日、<https://globe.asahi.com/article/12192741>

家族で移動しながら
暮らすようになる、
かもしれない



フルリモートで勤務できるデジタル系の仕事が
これから増えるらしいよ*。

リモートで働けるなら、いろんな場所を移動しながら
暮らしたいな。最近、全国どこでも、好きな時に家
を借りられるサブスクサービスもあるんだって★。



それは楽しそうだね！最近、保育園留学の話
を聞いたりもするし、家族で移動しながら生活する人達も
でてくるかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- 社会 9.働き方 2.世界で完全なフルリモートに適したデジタルの仕事が9200万存在している（2030年）

★関連するニュース

- Forbs Webサイト、”多拠点コミュニティサービスに進化 ADDRESSがつくる日本発「ローカルの未来」”、
2023年12月5日、<https://forbesjapan.com/articles/detail/67728>

水や電気の
インフラ設備は
どんどん小さくなる、
かもしれない



日本では、これから老朽化する水道や道路が
どんどん増えるらしいよ*。

これからが心配ね。そういえば、一家に一台設置して、
排水を家の中で循環させながら使う水循環システムが
あるって聞いたよ★。



そういう設備があると安心して暮らせるね。
電気も小規模なエリアでまかなう流れがあるっていうし、
インフラ設備はどんどん小さくなっていくのかも？

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 社会 II.インフラ I.建設後50年以上経過する社会インフラの割合が高くなる * 例えば道路橋は2020年の約30%から約75%、トンネルは約22%から約53% (2032年)

★関連するニュース

- ・ 東京財団政策研究所Webサイト、“「未来の水ビジョン」懇話会I4「小規模分散型水循環システムで、世界の水危機を解消する」”、2023年9月22日、<https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4347>

移動するの 1 3つの想像

「移動を楽しむ」ために
移動するようになる、
かもしれない

2

ゆっくり走る乗り物が、
おじいちゃんおばあちゃん
のお散歩のおともになる、
かもしれない

3

夏休みの旅行で、
宇宙に行けるようになる、
かもしれない

「移動を楽しむ」
ために移動する
ようになる、
かもしれない



世界の化石燃料の需要は2030年以降は減少するみたい*だね。今よりもっと多くの車が電気で動くようになるのかもしれないね。

電動化と一緒に自動化も進むかもしれないね。自動運転になることを想定して、車内でゲームを楽しむ環境を作ろうとしている会社もある★みたい！



ゲームのためだけに車に乗りたくなっちゃうね！これから移動は、手段ではなくて目的になって、移動を楽しむために移動するようになるかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 社会 3.エネルギー 1.世界の主要化石燃料（石炭、石油、天然ガス等）の需要がピークに *その後減少、過去数十年間の総エネルギー需要の約80%は化石燃料”（2030年）

★関連するニュース

- ・ 日経クロストrendWebサイト、“車は『移動するエンタメ空間』に？ シリコンバレーVCが見通す未来”,2030年1月23日、 <https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00757/00007/>

ゆっくり走る乗り物
が、おじいちゃん
おばあちゃんの
お散歩のおともに
なる、かもしれない



これから65歳以上の高齢者が
どんどん増えていくみたい*だね。
おじいちゃんおばあちゃんが増えたまちの様子は
どうなるんだろう？

おじいちゃんおばあちゃんはどうやってまちを
お散歩するんだろうね...？
そういえば最近、一人乗りのゆっくり走る乗り物が
研究開発されている★みたいだよ！



その乗り物が、おじいちゃんおばあちゃんの
お散歩のおともになるかもしれないね。
これからは足腰の健康に関係なく、
みんな自由にお散歩できるようになるかもね。

***関連する「未来予測カード」**

- 社会 7.医療介護 1.65歳以上の高齢者数が3,953 万人でピークを迎える（2043年）

★関連するニュース

- 群馬大学 研究・産学連携推進機構 次世代モビリティ社会実装研究センターWebサイト、“スローモビリティプロジェクト 低速モビリティ部門 1.低速モビリティ部門”、掲載年不明、<https://crants.opric.gunma-u.ac.jp/project/slowmobility/>

夏休みの旅行で、
宇宙に行けるように
なる、かもしれない



2032年には、繰り返し使える宇宙輸送のシステムが
実現する*みたいだね。
それで安く宇宙に行けるようになるらしいよ。

このあいだ、誰もが宇宙に行ける時代になるっていう
ニュース★を見たよ！
私たちも宇宙に行けるようになるかもしれないね。



大金をかけて「一生に一度！」と思って行くというより、
夏休みの旅行で行くような感じになるのかもしれないね。
宇宙でバカンスしたいな～！

***関連する「未来予測カード」**

- 技術 1-6 宇宙開発低コストでの宇宙行きを実現する再使用型宇宙輸送システム（ex.繰り返し使えるロケットなど）が社会的に実現する（2032年）

★関連するニュース

- NHKWebサイト、「Iからわかる！宇宙ビジネス（I）誰もが宇宙旅行にいける時代に！？」2022年11月30日、
https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/jiji/jiji117/

学ぶの 3つの想像

1

疑似体験を通じて
「誰かの気持ち」を
学ぶようになる、
かもしれない

2

暮らしのアップデートは
子どもからになる、
かもしれない

3

AI・ロボットが先生になり、
気兼ねなく無限に学べる
ようになる、かもしれない

疑似体験を通じて
「誰かの気持ち」を
学ぶようになる、
かもしれない



これから、個人の体験を肌感覚として記録して、それを人に共有できるメディアができるみたい*だね。いろんな感覚や心理状態も共有できるんだって。

皮膚病患者の生活を疑似体験できるVRが開発されたっていうニュース★を見たよ！VRは視覚がメインだけど、これからは、あらゆる感覚から疑似体験できるようになるのかもしれないね。



そうだね。実際の体験に限りなく近づいた疑似体験を通じて、「誰かの気持ち」を学ぶようになるかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 技術I-8 個人の体験を、その時の感覚・心理状態含め記録し、それを編集・伝達・体験・共有できるメディアが社会的に実現する (2033年)

★関連するニュース

- ・ 日経産業新聞Webサイト、”大鵬薬品工業、患者目線のVR 医師の疾病理解促す”、2021年7月6日、<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC25BF10V20C21A5000000/>

暮らしの
アップデートは
子どもからになる、
かもしれない



自分で主体的に目標を設定して行動する能力がこれから重要になるって教育分野で言われている＊みたいだね。
最近の環境教育がその能力を育んでいそうかな？

親よりも子どもの方が環境問題に対する意識が高いって調査結果★を見たよ！
環境教育が浸透して、親世代よりも子どもの方が意識が高くなっているということなのかもね。



これからの大人の暮らしは、
子どもの影響を受けてアップデートされそうだね。
子どもに言われて環境に良い行動をとるようになるのかな。
子どもと接する機会が多いかどうかで、
大人の意識格差が広がるかもしれないね。

＊関連する「未来予測カード」

- ・ 社会 10.子育て・教育 3.変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力が重要になる(2030年頃)

★関連するニュース

- ・ しろくま電力Webサイト、”『環境問題に対する親子の意識調査』を実施 『環境問題はかなり重要』と答えた6割の子どもに対し、親は4割と少ない結果に”、2021年10月14日、
<https://corp.shirokumapower.com/news/IXNuQS8B>

AI・ロボットが
先生になり、
気兼ねなく無限に
学べるようになる、
かもしれない



教育分野では、デジタル化を進めることで、誰もがいつでもどこからでも学べる社会が
目指されている＊ そうだね。

指導教官がない、AI自動車教習所ができたという
ニュース★を見たよ！
デジタル化が進んで、これからはAIやロボットが
先生になるのかもね。



AIやロボットが先生だったら、間違えても恥ずかしくないな。
しかも、安い費用で、より長時間学べるようになるかもね。
AIやロボットの先生から気兼ねなく無限に学べるの、
いいな～！

＊関連する「未来予測カード」

- ・ 社会 10.子育て・教育 3.教育におけるデジタル化が進展し、誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会の実現が目指されている(2030年)

★関連するニュース

- ・ Forbes Japan Webサイト、”岡山で日本初『指導教官不在のAI教習所』開校 安全はどう担保？”、2022年8月18日、<https://forbesjapan.com/articles/detail/49679>

いたわるの 3つの想像

1
企業は、
社員の健康管理に
どんどん踏み込んで
くるようになる、
かもしれない

2
普通に暮らしている
だけで、健康かどうか
わかるようになる、
かもしれない

3
「人間ではないもの」
にも人権が与えられ、
人々がいたわるようになる、
かもしれない

企業は、
社員の健康管理に
どんどん踏み込んで
くるようになる、
かもしれない



労働人口が減っていく*と、会社は
ひとりひとりの社員を大事にするようになるのかな？

「健康経営」って言葉もよく聞くようになったね。
社員の健康のことも考えて、
原則無料で1日3食提供する会社もあるんだって★。



そのうち、健康になれるかどうかで、
就職先や転職先を選ぶようになるかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- 経済 3.産業・労働 1.15～64歳人口が4,535万人まで減少する* 2020年は7,509万人（2070年）

★関連するニュース

- 楽天Webサイト、「採用情報 福利厚生」、2024年、<https://corp.rakuten.co.jp/careers/benefit/>

普通に暮らしている
だけで、健康かどうか
わかるようになる、
かもしれない



人生100年時代って言われることがあるけど、健康寿命もどんどん伸びていくみたいだね*。

スマートウォッチで健康管理している人もいるよね。もっと色々な体の情報を24時間計り続けられるように、皮膚に貼り付けたり、体内に埋め込んだりできる素材の開発も進んでいるんだって★。



そのうち、わざわざ健康診断を受けなくてもただ暮らしているだけで、健康かどうかが常に分かるようになるかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 社会 7.医療介護 4.健康寿命の増加分が、平均寿命増加の分を上回ることが目指されている（≡不健康期間の短縮） * 2019年の健康寿命は男性72.68/女性75.38（2035年）

★関連するニュース

- ・ 理化学研究所Webサイト、”皮膚上および体内埋め込み型センサー用の極薄伸縮性導体”、2022年11月28日、https://www.riken.jp/press/2022/20221128_1/index.html

「人間ではないもの」
にも人権が与えられ、
人々がいたわるように
なる、
かもしれない



生物多様性はこれから100年で
2~11%減少していくらしいよ*。
絶滅する生き物も増えるのかなあ。

アメリカでは、湖の環境汚染を防ぐために、
湖に「訴訟を行う権利」が認められた
って事例もあるみたいだよ★。
汚されたら、湖自身が訴えることができるんだって。



将来、動物や昆虫、湖や山なんかに、
色々な権利が認められるようになると、
人は自然から「訴えられないよう」に
気を付けるようになるのかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- 社会 4.生物多様性 1.世界の生物多様性が約0.2-1.1%の速度で減少する*土地利用変化と気候変動を抑制しなかった場合/100年間の合計で2-11%減少に(2050年)

★関連するニュース

- TABI LABO Webサイト、“擬人化して守られるアメリカのエリー湖”、2019年3月13日、<https://tabi-labo.com/290834/wt-lake-erie-human-rights>

交流するの 1 3つの想像

世代や家族を超えた
交流の場が増えて
新たな家族の形が
生まれる、
かもしれない

2
自然豊かな地域
を中心に、外国人と
地域の人たちとの
交流が進む、
かもしれない

3
認知症がとても身近
になり、まち全体で
ケアするようになる、
かもしれない

世代や家族を超えた
交流の場が増えて
新たな家族の形が
生まれる、
かもしれない



いろんな格差が拡大しつつあるんだって*。
一人暮らしの人たちが増えて、社会的な
孤独・孤立も問題視されているみたいだよ。

孤立しないように、子ども食堂とか、
シングルマザー向けシェアハウスとか、
家族を超えて食事や生活をともにする、
交流できる場所も増えてきているんだよね★。



地域のつながりは
だんだん少なくなっているって言われているけど、
これからは、人口も減っていくし、「血縁を超えた家族」
みたいな暮らし方も出てくるのかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 行政 2.格差 2.世界人口の7%が極度の貧困に苦しんでいる * 人口では約5億7,400万人 * 2020年の9.3%から減少するが目標の3%は未達に（2030年） 等

★関連するニュース

- ・ 子ども食堂ネットワークWebサイト、2024年、<http://kodomoshokudou-network.com/>
- ・ 読売新聞オンラインWebサイト、「シングルマザー向けシェアハウス、娘2人と入居した38歳「ここは生活の場であり心の逃げ場」」、2023年7月23日、<https://www.yomiuri.co.jp/life/kosodate/20230721-OYTIT50218/>

自然豊かな地域
を中心に、外国人と
地域の人たちとの
交流が進む、
かもしれない



今後、人口が減っていったって、一人暮らしの家庭や、空き家もどんどん増えていきそうだね*。

日本の古い家や、豊かな自然に魅力を感じる外国の人たちが、地方部のお手頃な空き家を購入して移住する例が増えつつあるんだって★。



今後、自動翻訳機などを使う機会も増えて、外国の人たちと一緒に地域で暮らしていくのがますます当たり前になっていくかもね。

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 社会 1.人口 4.一人暮らし世帯（単独世帯）が全体の44.3%、2330万世帯に達する * 2020年は38.0%、2115万世帯（2050年）

★関連するニュース

- ・ 東洋経済オンラインWebサイト、”外国人が気がついた「日本の空き家」圧倒的な魅力”、2023年4月20日、
<https://toyokeizai.net/articles/-/667509?display=b>

認知症がとても身近
になり、まち全体で
ケアするようになる、
かもしれない



2040年頃には、認知症の高齢者は今よりも
100万人以上増えて、
584万人になると予測されているんだ*。

神奈川には、認知症の人が接客スタッフとして働く
カフェがあるんだって★。
認知症の人も、社会の中で居場所や役割を
持つことが大事なのかも。



一人暮らし世帯が増えていく中で、
家族や医療・介護関係者だけでケアするのは難しいよね。
まち全体で、認知症の人たちが暮らしやすい環境を
考えなくちゃいけないのかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- 社会 7.医療介護 2.認知症高齢者が584万人にまで増加する * 2022年推計は443万人（2040年）

★関連するニュース

- 福祉新聞Webサイト、”間違えても「まあいいか」 認知症の人が働くカフェ（神奈川）”、2023年12月4日、
<https://fukushishimbun.com/reha/32612>

遊ぶの 3つの想像

1

参加型ワークショップや
ゲーミフィケーションを
取り入れたプログラムが
標準となっている、
かもしれない

2

博物館や動物園は、
特定エリアの生態系を
まるごと保存して
学習できる公園に
なっている、
かもしれない

3

DAOを通じて、
多様な人がまちづくりに
関わるようになる、
かもしれない

参加型ワーク
ショップやゲーミ
フィケーションを
取り入れた
プログラムが標準
となっている、
かもしれない



物事のより良い解決策を生み出すものとして、
市民参加が提言されている*みたいだね。
これから、より多くの場で市民参加型ワークショップ
が開かれるかもしれないね。

ワークショップといえば、企業がボードゲームを研修
に活用しているという記事*を見たよ！
これからは、遊びながら組織づくり、人材育成をでき
るプログラムが増えるかもしれないね。



増えるどころか、市民参加型ワークショップや
ゲーミフィケーションを取り入れたプログラムが
標準となっていくかもしれないね。

***関連する「未来予測カード」**

- 行政 3.市民参加 1.市民参加（熟議）が、市民と政府の信頼関係を強化し、物事のより良い解決策を生み出す機会を提供する（目標年次なし）

★関連するニュース

- 日本経済新聞Webサイト、“ボードゲーム、企業が研修に活用 障害への理解促す”、2024年5月20日、
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUD238G80T20C24A4000000/>

博物館や動物園は、
特定エリアの生態系
をまるごと保存して
学習できる公園に
なっている、
かもしれない



これから世界の生物多様性がどんどん減少していく＊
みたいだね。
今動物園や水族館で見ている貴重な生き物も個体数が
少なくなって見られなくなっちゃうのかな？

今、生態系をまるごと保全して、
絶滅危惧種を守る取組が行われている★みたいだよ。



特定のエリアの生態系をまるごと保存したら、
それが博物館や動物園みたいになることもあるのかな？
みんなが生態系を学習できる施設みたいになるといいね。

＊関連する「未来予測カード」

- ・ 社会 4.生物多様性 1.世界の生物多様性が約0.2-1.1%の速度で減少する＊土地利用変化と気候変動を抑制しなかった場合／100年間の合計で2-11%減少に（2050年）

★関連するニュース

- ・ GLOBERIDEWebサイト、”生態系をまるごと保全し、絶滅危惧種ニッポンバラタナゴを守る” 2024年7月25日、<https://www.globeride.co.jp/features/page52>

DAOを通じて、
多様な人が
まちづくりに
関わるようになる、
かもしれない



山間農業地域の人口が大きく減少していくそう*だね。
人口が減っていったら、農村のコミュニティは
どうになってしまうのだろう？

DAO（分散型自律組織）を活用して
地方創生に取り組む地域もあるみたい★だよ。
DAOはインターネットを使ったコミュニティだから、
遠くに住む人もまちづくりに参加できるんだよね。



しかも町長やまちの有力者の意見に引っ張られずに、
参加者で物事を決められる仕組みなんだよね。
これからはいろんな立場の人が私たちのまちづくりに関わる
ようになるかもしれないね。

*** 関連する「未来予測カード」**

- 経済 3.産業・労働 2.山間農業地域の人口が半減する * 人口で157万人、2015年は344万人（2045年）

★ 関連するニュース

- 日本経済新聞Webサイト、“各地で広がる地方創生DAO”、2024年7月9日、
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO8I944490Y4A700C2L61000/>

育てるの 3つの想像

1

社会科の授業は、
ソーシャル・アントレプレ
ナーを育てる場になる
かもしれない

2

企業のオフィスは、
社員が子育てしやすくなる
ように保育園付きになる
かもしれない

3

気候変動や技術変化によっ
て新しい専門職を育てる
必要がある
かもしれない

社会科の授業は、
ソーシャル・
アントレプレナーを
育てる場になる
かもしれない



これからの時代、自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現する力が必要になるんだって＊。最近の学習指導要領もそんな考え方で作られたらしいよ。

その力はどうやって身に付けられるんだろう？
そういえば、アントレプレナーシップ、起業家精神の教育が、これからのAI時代に大学で必要だって言っている記事を見たけど、関係がありそうだね★。



もっと早くから学べてもいいよね。小学校だと、社会科の授業かな。ソーシャルアントレプレナーと言われる社会起業家による出前授業などがあると、社会変革を実現する力と結びつきそうだね。

＊関連する「未来予測カード」

社会 10.子育て・教育 3.変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力が重要になる（2030年頃）

★関連するニュース

- ・ 文部科学省 科学技術学術政策局 産業連携・地域支援、”アントレプレナーシップ教育の現状について”、2021年、https://www.mext.go.jp/content/20210728-mxt_sanchi01-000017123_1.pdf

会社のオフィスは、
社員が子育てしやすく
なるように
保育園付きになる
かもしれない



こども家庭庁は「共働き世帯の子育て支援が重要」って言っているけど、男性の育休とか、企業側の取組はまだまだこれからだね*。

一部の企業では、保育園付きオフィスにして、採用応募者数が増えたり離職率が減ったりしているらしいのにね★。



保育園付きオフィスの有無がESG投資の対象、社会課題の解決を企業に求める投資の対象になったら、もっと多くの企業が取り入れたりするのかもね！

***関連する「未来予測カード」**

- 社会 9.働き方 3.男性の育休取得率を公務員 85%、民間 85%にすることが目指されている（2030年）

★関連するニュース

- 三菱地所プロパティマネジメント株式会社Webサイト、「コトフィス ～こどもとはたらくオフィス～」、
<https://www.mjpm.co.jp/madoguchi/cotooffice/>

気候変動や技術変化
によって新しい専門職
を育てる必要がある
かもしれない



気候変動の影響で、世界で移住する人が
増えるらしいよ*。
他にはどんな影響がありそうかな。

こないだ、新しい仕事「気候医師」が募集されたって
ニュースを見たよ★。
全く新しい専門職が誕生しそうだね。



気候変動と医学みたいに、
分野横断型の知識・技能を学ぶ教育機関も
必要になりそうだね。

***関連する「未来予測カード」**

- ・ 社会 8.コミュニティ 1.気候変動や農業生産力の低下などの影響により、最大で2億1,600万人の国内移住者が生じる（2050年）

★関連するニュース

- ・ IDEAS FOR GOOD Webサイト、“ベルギー、新たな役職「気候医師」を募集。気候変動は公衆衛生の問題に”、2024年8月27日、<https://ideasforgood.jp/2024/08/27/flanders-climate-doctor/>

はたらくの 3つの想像

1
社会人の働き方は、
公務員も含めて
副業・兼業が標準になる
かもしれない

2
AI/ロボットの上司が、
感情に左右されない
マネジメントを
するようになる
かもしれない

3
工事現場は遠隔施工に、
サービス業は
リモート接客になる
かもしれない

社会人の働き方は、
公務員も含めて
副業・兼業が
標準になる
かもしれない



約2割の地方自治体で人口が半減するって
予測されてるんだって。
自治体の公務員の働き方はどう変わるんだろう。

効率化しないといけなくなって、
公務員の仕事もAIに置き換わったり、
人が担う部分が減ったりするのかな。
そうすると働く時間が余ることもあるのかな？



公務員も副業や兼業する例が出てきている話も聞くよね*。
副業や兼業は会社の人達だけでなく、
公務員でも当たり前になっていくのかもね。

*** 関連する「未来予測カード」**

- 行政 1.地方行政の課題 3.総人口が半減する市区町村が全体の約20%に達する * 2020年との比較 (2050年)

★ 関連するニュース

- 朝日新聞DIGITAL Webサイト、”エダマメ収穫、助っ人は市職員 人手不足解消だけじゃないメリット”、
2024年6月23日、<https://www.asahi.com/articles/ASS6Q3SQSS6QUTNB001M.html>

AI/ロボットの上司が、
感情に左右されない
マネジメントをする
ようになる
かもしれない



AIやロボットは人間の仕事を奪う存在ではなく、自ら学習して人間と一緒に仕事をする存在になる*、とされているよ。

AIやロボットが得意なことを活かして人間と共生するって、たとえばどういうことだろう？感情を持たないことも特徴なんだよね。



そういえば、会社の中でAIが上司になる、っていうニュースを見たな★。
AI上司だったら、パワハラを起こさないだろうし、社員の評価も公平にしてくれそう。
感情に左右されないで会社が運営されそうだね！

***関連する「未来予測カード」**

- 技術 I-I AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットが実現する(2050年)

★関連するニュース

- 朝日新聞DIGITAL Webサイト、”AIが「上司」になる時代 顧客心情量り助言、変わるコールセンター”、2024年8月13日、<https://www.asahi.com/articles/ASS8F2Q02S8FULFA00PM.html>

工事現場は
遠隔施工に、
サービス業は
リモート接客になる
かもしれない



デジタル技術で無人化・省人化が進むから、フルリモートで働く人口が世界で9200万人に達すると予測されているよ*。

ハプティクスっていう感覚を生む技術があって、離れた場所からでも、あたかもその場にいるように感じながら働けるよう研究されているらしいよ*。
何か関係あるかな？



工事現場とか、危険を伴う作業は遠隔操作に適してそうだね。
飲食店の接客業でもリモート接客が当たり前になるのかも。
嫌なお客さんと接しなくてよくなって、
ストレスが減るのかも？

***関連する「未来予測カード」**

- 社会 9.働き方 2.世界で完全なフルリモートに適したデジタルの仕事が9200万存在している（2030年）

★関連するニュース

- ビジネス+IT Webサイト、“ハプティクス（haptics）とは？ PS5やiPhoneにも使われている技術のカラクリ”、2021年6月18日、<https://www.sbbit.jp/article/cont/62568>